
岩手県立福岡高等学校

校長 佐々木 敬 二

学校住所 二戸市福岡字上平 10 電話 0195-23-3385

- 1 会議の名称** 平成 29 年度岩手県立福岡高等学校 第 2 回学校評議員会
- 2 会議の構成** 評議員 5 名 学校側 6 名
- 3 会議の目的** 学校運営等について地域住民代表から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する。
- 4 会議の開催** 平成 30 年 2 月 6 日 (水) 15:20~16:20 福岡高校 第 1 会議室
評議員 3 名 (2 名欠席) と学校側 6 名

5 会議の概要

次 第

- 1 開会
- 2 校長挨拶
- 3 学校概況説明 (校長)
- 5 質疑応答
- 6 提言
- 7 閉会

6 会議録

(1) 質疑応答 (16:00~)

- 評議員 今年度卒業生の進学状況は
学校側 昨年度卒業生並みに届くかどうかといった厳しい状況であるが粘り強く頑張っている。
- 評議員 大学推薦入試については
学校側 本人・家族が納得する形で進めているので、推薦合格者数は例年より多くはないかもしれないが、内容は悪くないと考えている。
- 評議員 福岡中の成績上位者が市外に流れていくのが残念だが、どうとらえているか。
学校側 中学生も今はいろいろな情報を得て高校を選択しているので、本校としては入学してくる生徒を鍛えるしかないと考えている。
各中学校では、高校説明会として多くの高校を集めて、高校の情報を生徒・保護者に伝えている。本校は校長と副校長が出向いている。
- 評議員 大学入試改革の英語改革の内容は
学校側 大学入試の英語について、民間の資格試験を利用することになっている。ただし、どのような使い方になるのかはまだ不明である。高校 3 年生の時に 2 回受験するといった案が出ているようである。不明な点が多いが、学校としては万全の体制で臨めるよう準備を進めている。
- 評議員 支援員が配置されて効果はどうかか。
学校側 様々な点で効果的であった。

(2) 提言 (16:15~16:20)

- 評議員
- ・高校入試の際の合格ラインをもう少し上げたら良いのではないかと。
- 評議員
- ・授業を参観したが、どの授業も本日の説明の中にあったアクティブ・ラーニングで進められていて、とても生徒が生き生きしているように感じた。
 - ・入学式の際に手話通訳を手配して下さったことを、保護者は大変感謝していた。
 - ・女子の制服が黒一色で、夜の送迎の際にとっても危険に感じている。
- 評議員
- ・自分の高校時代とはかなり変わり、時代の変化を感じた。さらに時代に合わせてより良く変わってほしい。次回を楽しみにしている。